



西中だより

学校教育目標

志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒

県下に誇れる西中を



桶川市立桶川西中学校
令和4年 6月24日
第4号



「感謝の気持ちは、言葉にしないと伝わらないんだ」

生徒指導主任 三宅 亮輔

「お弁当ありがとう！」「送り迎えありがとう！」お子さんは、家族に感謝の言葉を伝えていますか。私が中学生だった時のことです。ある先生に言われた言葉があります。「感謝の気持ちは、言葉にしないと伝わらないんだ」しかし、中学生の頃の私は、感謝の気持ちを言葉にして伝えることがあまりできませんでした。反抗期で照れくさかったからです。言葉にしなくても、家族には伝わっていると思っていました。「素直じゃなかったなあ……」今ではそう思えます。

高校生になりました。給食がないので、毎日お弁当持参です。母は、毎朝早起きして、私にお弁当を作ってくれました。「ありがとう！」と心の中では思っていました。でも、その言葉を口にするのはなかなかできませんでした。感謝の言葉を述べる代わりに、「おかずが昨日と一緒だった」、「冷凍食品が多かった」などと、文句を言ってしまったこともありました。お弁当を作ってもらうことを当たり前だと考えていたのです。



また、部活動が盛んだったので、土日は遠征が多く、試合会場まで父が送迎してくれていました。父に対しても、心の中では「ありがとう」と思っていました。でも、その言葉を口にするのもほとんどなかったのです。送り迎えが当たり前だと考えていたからです。

社会人になり、一人暮らしを始めてから分かったことが3つありました。1つ目は、毎日毎日、食事を作ってくれていた母が、いかに大変だったかということ。2つ目は、いつも決まった時間に決まった場所へ送迎してくれていた父が、いかに大変だったかということ。そして3つ目は、父や母は、私から感謝の言葉がほとんどなかったのにも関わらず、ずっとずっと、そのことを続けてくれたということです。何か見返りがあるから送迎をしたり、お弁当を作ったりしたわけではないのです。

教師になって、生徒から「ありがとうございます！」と言われて気付いたことがあります。感謝の言葉を言ってほしくて、様々なことをしているわけではないけれど、感謝の言葉を言ってもらえると、とっても嬉しいのです。さらに頑張ろう、もっと努力しようという気持ちになるのです。中学生の時に言われた「感謝の気持ちは、言葉にしないと伝わらないんだ」という言葉が、今ではとてもよく分かります。

子供達は今、家族に対していろいろな思いを抱いていることでしょう。それでも、自分のために何かしてもらった時などは、「ありがとう」と、一言でいいので伝えてほしいと思います。